

令和5年度 夏休みちよこっとボランティア 実施記録

青少年の健全育成を推進するとともに、地域との交流を促進するため、夏休み期間中(7/27~8/22)に、中学生が放課後児童育成事業所でボランティア体験を行う事業を実施しました。(令和5年度新規事業)

参加者数・派遣先クラブ数

参加者総数

合計	内訳	1年生	2年生	3年生
48名		15名	15名	18名

派遣先クラブ数

合計	内訳	放課後キッズクラブ	放課後児童クラブ
16クラブ		12クラブ	4クラブ

オリエンテーション(7/25@大岡地区センター、7/26@区役所会議室)



7/25, 26 日の2日間(参加者はいずれか1日に参加)、オリエンテーションを開催しました。

- 1 ボランティアの心構え
講師:南区ボランティアセンター阿部祥代氏
- 2 放課後キッズクラブ・学童での活動内容
講師:第1みなみひまわり指導員 大平準氏(25日)
蒔田小キッズクラブ主任 工藤こずゑ氏(26日)

【アンケート抜粋】

- ・ボランティアでの過ごし方についてしっかり理解することができた。
- ・子ども達を「ねえ」「きみ」と呼ぶのではなく、名前と呼ぶということが分かり、確かに、と納得できた。

ボランティア体験

48名の参加者は、16のクラブに分かれ、それぞれ1日~複数日活動しました。活動が楽しかったため、当初の予定よりも活動日を増やした中学生もいました。

小学生の宿題の見守り



お昼ごはん配膳手伝い



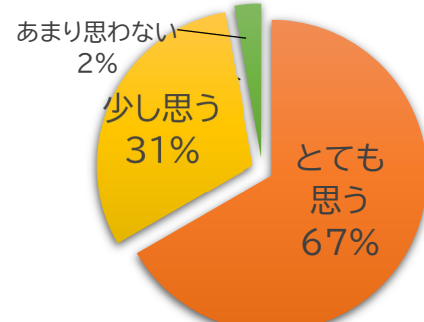
イベントの手伝い



折り紙・ゲームなど

【アンケート抜粋】

- ・とても楽しかったです！またボランティアをしてキッズ達と触れ合いたい。
- ・ゴミ捨てをしたり、子ども達と遊んだりして、スタッフの方に感謝された。
- ・小学生から「遊ぼう」など色々声をかけてくれて嬉しかった。「また来てね」と言ってもらえた。
- ・遊んでいたこのお母さんが、「その日はいつもより楽しそうに帰ってきた」と言ってくれた。
- ・ケンカが頻繁に起きるため、止めに入るのが大変だった。
- ・子ども達の名前を覚えるのが大変だった。



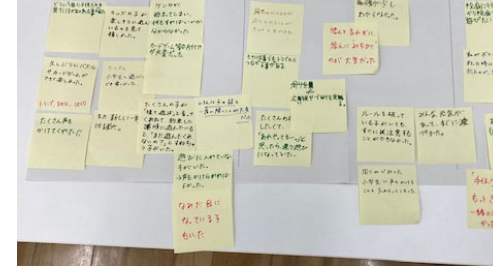
また、ボランティアをしてみたいと思う参加者は、98%！

修了式(8/23@区役所会議室、8/25@大岡地区センター)



8/23, 25 日の2日間(参加者はいずれか1日に参加)、修了式を開催しました。

積み木式自己紹介で、すっかり打ち解けた後は、グループで、「楽しかった事」「大変だった事」「今度やってみたい事」等話しました。最後に参加賞をもらい、活動のスライドショーを見て、他の参加者の活動を写真で見たり、自分の活動を振り返ったりしました。



- 1 区役所からのメッセージ
- 2 積み木式自己紹介
- 3 グループディスカッション
- 4 参加賞贈呈・スライドショーでの振り返り

【アンケート抜粋】

- ・自己紹介は、覚えるのが少し大変だったけど笑いながら楽しくやれた。
- ・みんなが一つとなり、グループワークで共感することも多かったし、仲を深められたと思った。
- ・違う学校、学年の人たちと関わることができた。



アンケート結果・感想

参加者のアンケートで、「誰かの役に立てたと思う」割合、「全体の満足度」の満足割合は、100%でした。「また参加したい」「この取組続けてほしい」といったボランティアを続けたいという意見や、「高齢者の方々と関わったり、他のボランティア活動にも参加してみたいと思いました。」など、他の活動への関心が高まったり、「未来の選択肢が増えた」など新たな経験をしたことによる変化についての記載もありました。

受入れクラブアンケート結果

受入クラブへのアンケートで、ボランティア受入について「とてもよかった」「よかった」と回答した割合、「またボランティアを受け入れたいと思う」と回答した割合は、100%でした。受入の前は不安があったクラブも、実際に受け入れてみると、児童たちの喜ぶ姿に、受け入れてよかったと思ったという意見も多くあり、クラブにもメリットのある事業となったことが示されました。一方、クラブによっては、繁忙期であるため、受入が少し負担になることや、日程の調整が煩雑であったなどの意見もありました。来年度以降、よりクラブが受入をしやすく、改善していきます。

【アンケート抜粋】

- ・スタッフは、ずっとは遊べないので、子ども達の遊びにずっと付き合ってくれて、ありがたく助かりました。
- ・参加者のボランティア活動をしたいという思いに触れ、体験の場を提供したいと感じるようになりました。
- ・もっと早くに日程と人数などがわかっているとありがたいです。
- ・地域の中学生に関心を持ってもらえたら嬉しいです。

児童たちにとって、ボランティアを受け入れたことは、よかったですか

